

施策を構成する事業評価

No.	27	担当課	商工観光課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	4	人が訪れるまちづくり
施策名	1	市民力による魅力発信を支援します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし										予算事業番号 (予算事業名)		
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	観光資源・施設等管理事業	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4.107852(観光総務費)・107008(七曲池管理費)107009(滝ノ谷池管理費)107010(横地城跡管理費)107011(丹野池自然公園管理費)107013(観光振興費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内観光施設の適切な維持管理を行う。 経年劣化による修繕や、新規の備品購入を行い、施設利用者がが安心・安全に利用できるように施設を管理維持する。 横地城跡・丹野池自然公園・石山自然公園などの県立自然公園の管理及び火剣山・井成山・滝ノ谷池・七曲池などの市内観光施設の清掃・管理を行っている。 横地城跡・井成山・滝ノ谷池・火剣山においては、地元団体に清掃・管理などの一部業務の委託を行っている。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 県立自然公園の維持管理については自然保護員と協力し、適正な維持管理に努めた。 丹野池地区では施設の長寿命化のためウッドデッキ塗装修繕(2,732千円)を施工した。 横地城跡・井成山・滝ノ谷池・火剣山においては地元団体へ業務委託を行い、施設の清掃・管理を行った。 七曲池については直営での管理を行った。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化により多くの観光施設が修繕・更新時期を迎えている。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設台帳を昨年度整備し、優先度をつけて計画的に修繕を行い、利用者の安心・安全と利用増加を図る。 		

事業名(中分類)	火剣山キャンプ場運営事業	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4.107007(火剣山管理費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 火剣山キャンプ場施設の維持管理及び利用予約事業 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場の運営について野外宿泊施設管理組合と業務委託契約(1,450千円)を結び管理運営を委託している。 令和元年度市内899人、市外880人、県外294人の合計2,073人の利用があった。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設の老朽化が進んでおり、定期的な修繕が必要である。また、管理組合も高齢化による人出不足により現体制では将来的な運営継続が難しくなっている。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場施設の計画的な補修を行い、利用者に安心・安全な宿泊施設を提供する。予約及び利用方法の検討を行い、利便性を高めてシーズンオフの利用者増を図る。 管理組合の状況を見ながら今後の運営について研究する。 		

事業管理シート(施策)

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	4	人が訪れるまちづくり
施策名	1	市民力による魅力発信を支援します

事業名(中分類)	小菊荘・蓮池公園管理運営事業	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4.107015(蓮池公園管理費) 7.1.4.107016(小菊荘管理費)
事業概要	・小菊荘及び蓮池公園について指定管理者により運営事業を行っている。		
取組内容・結果等(D)	・平成30年度から新たな指定管理者として「中部ビル保善㈱」が管理運営している。隣接する小菊荘グラウンド及び蓮池公園部分を含め、小菊荘施設と併せ一体的に指定管理として運営している。 ・令和元年度実績として、宿泊1,390人、会食4,050人、慶弔937人となった。小菊荘運営委員会を1回開催し、監督指導を行った。		
課題・問題点等(C)	・施設利用者の減少について、近年、多人数での合宿及び会食、慶弔が行われなくなるなど、本施設に限らず社会的な利用形態の変化などが要因と考えられ、利用者が伸び悩んでいる。		
今後の方向性(A)	・令和年度の事業内容を検証し、顧客ニーズの把握や施設利用者へのサービス向上に取り組むとともに、地域に密着した運営、サービスの提供を行う。 ・団体客を取り込むため、営業活動の一層の強化を図り、市外からの合宿等の誘致にも取り組んでいく。		

事業名(中分類)	菊川市観光協会との連携	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4.107013(観光振興費)
事業概要	・菊川市観光協会の活動支援を行う。		
取組内容・結果等(D)	・菊川市観光協会に運営事業費として7,093千円の事業費補助金交付を行った。また、地域の魅力発信・交流促進事業を1,200千円で観光協会に業務委託を行い、市民主催のイベント支援及び首都圏での物産展開催などの交流事業を行った。 ・「菊川産業祭2019」の事務局業務を補佐し、22,000人の乗客があった。		
課題・問題点等(C)	・観光イベントにより事務局の事業量が増大する中、事務局の強化、観光協会会員の拡大、観光協会役員の活動の活性化など、運営組織の確立が急務である。		
今後の方向性(A)	・観光協会組織を活性化し、事業者が自主的な活動を行うように支援する。静岡県観光協会と連携し、大型観光キャンペーンのほか大型イベントを通じて菊川市の魅力を市外県外に発信する。		

事業名(中分類)	市民主導イベント支援事業	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4.107026(総合戦略・交流促進事業)
事業概要	・市民主催の観光イベントの支援・おんぼく・田んぼアートへの支援、朝市の開催支援		
取組内容・結果等(D)	・地域づくり推進助成金1,200千円を活用し、菊川の魅力発信・交流促進事業を菊川市観光協会に業務委託を実施し、市民主導のイベント開催を支援した。 ・東京での物産展を開催し、菊川市の魅力を情報発信し、首都圏の新聞に掲載されるなど効果があった。 ・朝市については年5回開催計画し、うち3回は悪天候により中止となったが、駅前商店街の活性化に繋がった。 ・田んぼアート菊川については6月～9月までの実施期間を通じ2,000人を超える来場者があった。		
課題・問題点等(C)	・各実施イベントへの参加者増を図るため、情報発信力を強化し、市民に周知できるようにする必要がある。市民主導イベント実施団体との連絡及び事前調整を行うことが必要である。		
今後の方向性(A)	・駅前商店街組合主催の朝市を賑わいづくりのため引き続き組合と連携協力し開催する。		

施策を構成する事業評価

No.	27	担当課	商工観光課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	4	人が訪れるまちづくり
施策名	2	マスコットを活用した情報発信を行います

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし						予算事業番号 (予算事業名)						
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	マスコットキャラクターを活用した情報発信事業	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4.107021(マスコットキャラクター運営費)
事業概要	・マスコットキャラクターを活用し、イベントへの参加や関連物品の作成により菊川市の情報発信を行う。		
取組内容・結果等(D)	・市内を中心として計63件のお出掛けを行いマスコットキャラクターを通じての情報発信を行った。まくのんデザイン等の使用申請は98件であった。 ・県外のキャラクターイベントに2回出展、県と連携した観光キャンペーンに2回参加し、県外の方々に菊川市の魅力を情報発信した。		
課題・問題点等(C)	・キャラクターの認知度は大変高く、お出掛けの要望、依頼はあるが、時期が集中するため要員の確保が困難である。更なるアクター、アテンドの確保が必要である。 ・キャラクターデザインを使用した商品が減少傾向であり、効果的に活用されていない。 ・お出掛け回数は昨年と比較し減少傾向にあるため、活用方法を検討し、活性化が必要である。		
今後の方向性(A)	・市内、県内を中心にマスコットキャラクターのお出掛けによる菊川市の情報発信を行う。また、本市を認知していただく上で大きな効果が見込まれる県外のイベントにも、機会を捉え出展していく。 ・市職員に対するアクターアテンド登録を一層推進し、スタッフの強化を図り市内外での活動を活性化していく。 ・キャラクターデザイン使用申請のPRを行い、マスコットキャラクターのデザインを使用した商品の作成を企業等に提案していく。		

施策を構成する事業評価

No.	27	担当課	商工観光課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	4	人が訪れるまちづくり
施策名	3	広域市町と連携した交流人口の増加を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし						予算事業番号 (予算事業名)						
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	富士山静岡空港の活用促進事業	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4107852(観光総務費)
事業概要	・富士山静岡空港周辺地域観光振興研究会の構成員として、就航先へ観光PR事業や、富士山静岡空港でのイベントPRへの参加や、空港を拠点としての圏域内での観光イベントでの情報発信を行っている。		
取組内容・結果等(D)	・富士山静岡空港周辺地域観光振興研究会の国内事業部会の一員として、北海道及び福岡市で観光PRを行った。 ・空港関連イベントに参加し静岡空港の利用促進に向けて関連市町と協調して取り組んだ。		
課題・問題点等(C)	・富士山静岡空港周辺地域観光振興研究会は関係市町が多く、国外及び国内遠方での事業が多いため、事業実施にあたり、構成市町間の連携、綿密な連絡調整等が必要である。また、海外事業は国際関係に左右されるため、十分な情報収集が必要である。		
今後の方向性(A)	・コロナウイルス感染拡大により不透明な状況であるが、今後、静岡空港の利用促進に向けてのイベント等へ参加し、民間会社のアイデア・情報力をつかめるように、空港周辺地域での観光プロモーション活動を行う。		

事業名(中分類)	西部地域における広域的観光連携	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4107852(観光総務費事業)
事業概要	・広域観光の推進のため、5市1町で構成される静岡県遠州観光協議会に所属し、各市町連携しながら、西部地域の観光PRを行っている。		
取組内容・結果等(D)	・首都圏及び関西圏で行われたイベントの静岡県遠州観光協議会として参加し情報発信を行った。観光協会と首都圏及び中京圏における旅行会社訪問などによる訪問営業及び西部地区における観光イベントの出席(エコパラグメスタジアム、ららぽーと納涼祭)にてパンフレット及びイベントチラシ配布等の情報発信を行うことにより菊川市をPRを行った。		
課題・問題点等(C)	・西部地区観光協議会は3月末日をもって解散したため、後継組織として「静岡県遠州観光協議会」を4月1日より発足させた。観光関連機関と連携した取り組みが求められている。		
今後の方向性(A)	・遠州観光協議会の構成各市町と連携して、首都圏及び中京圏へのPR活動及び圏域内の観光イベントに出席し、情報発信を行うことにより、更なる交流人口の増加を図る。		

事業管理シート(施策)

基本目標	3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち【産業】
政策名	4	人が訪れるまちづくり
施策名	3	広域市町と連携した交流人口の増加を図ります

	静岡県観光協会等との連携事業	予算事業番号 (予算事業名)	7.1.4107852(観光総務費事業)
事業名(中分類)	・県の主催する大型観光キャンペーンと連携し、情報発信及び誘客を行っている。		
事業概要	・静岡デステイネーションキャンペーンによるイベントへの参加や、旅行者への情報発信及び誘客を行った。		
取組内容・結果等(D)	・静岡県観光協会と連絡を密に行い、常に最新の情報を収集し、効果的に情報発信を行う必要がある。		
課題・問題点等(C)	・素材の磨き上げ、さらなる商品化へ繋げていく。農業体験などの着地型観光を進めるための事業者との連携を進めるとともに、自然等の観光資源を活かした取り組みを支援していく。		
今後の方向性(A)			